

資料番号	20010728
差出人	財団法人 骨髓移植推進財団 ドナー安全委員会
受取人	(財) 骨髓移植推進財団 認定施設連絡責任医師 各位
採取方法	DLI
通知区分	医療委員会発出
事例分類	その他

タイトル	採取量不足のため、採取継続可否を検討した事例
本文	<p>ドナーデータ：年齢：30歳代 性別：男性<経過>患者体重：55Kg 骨髓採取標準量：825ml 採取予定量 850ml 採取中、ドナーの後腸骨から骨髓液が採取できないと一報あり○危機管理担当理事・ドナー安全委員長非血縁ドナーに対しては、両側後腸骨の採取にとどめ、前腸骨や胸骨からの採取は行なわない（骨髓採取マニュアルに明記）こととする○移植施設責任医師へ状況を連絡最終的に細胞数を確認したうえで、不足の場合は臍帯血も視野に入れるとのこと。（運搬担当の移植施設医師と採取担当医師で状況を確認）<結果>採取途中で、後腸骨から培養液含めて 480ml 採取。後腸骨からの採取のみにとどめ前腸骨・胸骨からの採取は行なわない<採取結果>骨髓採取量：800ml 細胞数：1.5×10^8/Kg 採取時間：3.5 時間</p>

別紙タイトル	検討した事例
別紙本文 1	<p>そこで、当法人では、非血縁者間骨髓採取認定基準にある血縁骨髓採取件数のみが不足しているため、非血縁者間末梢血幹細胞採取施設として認定できない施設に対し、非血縁者間末梢血幹細胞採取ドナーの利便性向上・安全確保の点から、ドナー安全委員会にて以下に示す申請条件を満たす場合のみ、非血縁者間骨髓採取認定施設であることを免除し、新たに策定した「非血縁者間末梢血幹細胞採取施設認定基準」を満たす場合は採取施設として認定することとしました。</p>
別紙本文 2	secbody(内容③)が表示されるかを確認するためのデータです。